

北広島市都市計画マスタープラン 市民 ワークショップニュース

第 7 号

発行 (お問い合わせ先) : 北広島市
企画部都市計画課
〒061-1192 北広島市
中央 4 丁目 2-1
TEL : 011-372-3311
FAX : 011-372-3850

第 3 回、4 回地域別市民ワークショップ会議開催

まちづくり構想 住民提案仕上がる

都市計画マスタープラン地域別構想策定のために進めてきた市民ワークショップ会議ですが、第 3 回、第 4 回が開催され、最終回を迎えました。

第 3 回では、参加メンバーが考えた各地域の『まちづくり構想住民提案』を仕上げ、第 4 回では 3 会場に分かれていた会議のメンバーが一堂に会し、住民提案を互いに発表しあい、理解を深めました。

今後は、この住民提案を反映させて整理した素案を基に、市民を含む策定委員会や市役所内部の委員会等で検討を重ね、平成 15 年度に『北広島市都市計画マスタープラン』として公表する予定です。



第 4 回会議に参加された皆さん

住民提案仕上がる

夏の終わりの 8 月下旬に第 3 回地域別市民ワークショップ会議が西の里会館 (西の里地域)、中央会館 (東部・北広島団地地域)、大曲会館 (大曲・西部地域) の 3 会場で 56 名のメンバーの参加により開催されました。

今回は、今までグループに分かれて作業を進めてきた地域ごとのまちづくり将来構想を、『住民提案』として仕上げました (後半に掲載)。会議では土地の利用方法などを考えると共に、『地域住民のできること』や『地域の個性について』も話し合いました。

全体発表と 意見交換会開催する

平成 14 年 10 月 26 日、第 4 回会議が芸術文化ホールにおいて開催されました。市内 3 会場に分かれて開催してきた会議ですが、最終回となった今回は 42 名の出席で、各地域の参加者が一堂に会し、前回まとめた 5 地域の『まちづくり構想住民提案』を互いに発表しあい、意見交換しました。

地域の将来像を体のプロポーションに例えて発表するなど、参加者全員が互いの地区の発表を楽しく真剣に聴きました。
また意見交換では、今後具体的にまちづくりを進めていく際には、同じように市民参加で行いたいといった意見も出ました。



都市計画

マスタープラン

とは、20 年先のまちの望ましい将来像を考える都市計画の基本方針です。都市づくりの理念、目標を考える『全体構想』と身近な地域を考える『地域別構想』から構成されるこのマスタープランは、土地利用、道路、公園など将来の方向性を、市民の皆様のご意見や関係分野との連携を取りながら策定していきます。

策定後は、このマスタープランに基づいて都市計画が進められることとなります。



策定までの

今後の流れ

としては、この『住民提案』やアンケート調査を反映させ、更に関係分野との連携を図り整理した素案を基に、市民を含む策定委員会や市役所内部の委員会で検討を重ねます。案ができる前には、広報紙などにより皆様にご意見を伺う予定です。そのあと都市計画審議会の諮問、答申を受け、平成 15

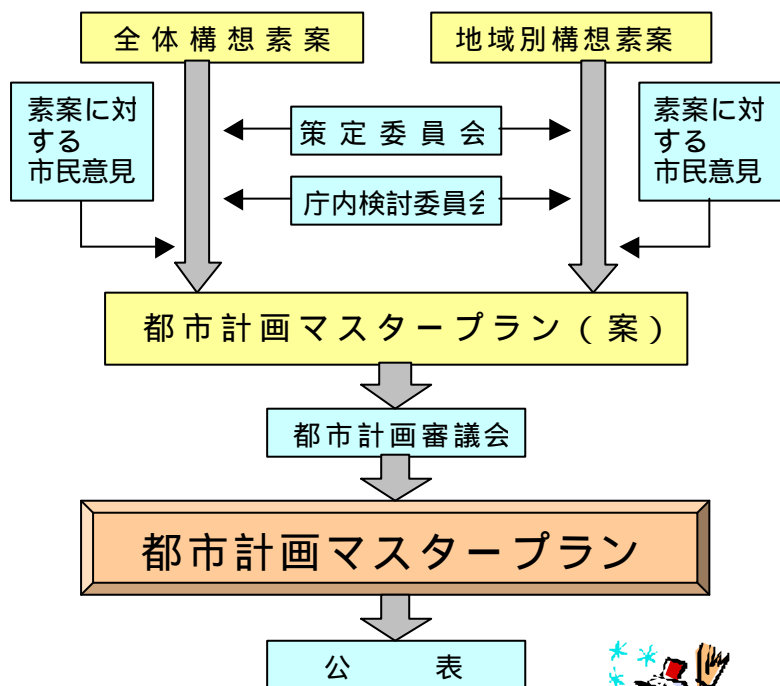
年度に決定し公表することになります。

都市計画マスタープラン策定員会では、現在、全体構想素案の審議を行っており、続いて平成 15 年からは、地域別構想素案の審議に入っていきます。

当委員会は原則公開としていきますので、傍聴を希望される方はご連絡ください。また市のホームページでも随時ご案内しています。

<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>

都市計画マスタープラン策定までの流



ワークショップ

とは、市民参加による計画案づくりの代表的な手法です。進め方は、5〜6人で1つのテーブルを囲み、グループ討議やカード記入するなど、実際に簡単な作業を通して誰もが意見を出しやすいように工夫されています。

参加された皆様、お疲れさまでした。そして本当にありがとうございました。都市計画マスタープラン策定のための市民ワークショップ会議は、ひとまず終了となりますが、市民ワークショップニュースでは、これからも策定までの情報を皆様にお知らせしていきます。

市民ワークショップニュースは、市役所や出張所などに置いてありますし、郵送もいたします。



都市計画マスタープランに関するご意見は、いつでも受け付けております。

大曲地域発表内容

北広島市を5つの地域（西の里、大曲、西部、東部、北広島団地地域）に分けて、『まちづくり構想住民提案』を仕上げました。

地域区分図



『みんながホッとできるまち』を目指し、体のプロポーショナルに例えて地域を表現している。

大曲会館とコミュニティセンター（予定）をつなぐ地区を中心とし、商業地や工業地、農地を大切に育てていきたい。スーパー銭湯などがあると、皆が集まる場所になるのでは。

バスの便はまだまだ悪いので良くしていきたいし、地域内を循環するバスも望まれている。

自然公園が人工公園に変わることなく、自然を守っていきたい。



西部地域発表内容

不足している都市基盤を整備し、小学校移設予定地を中心とした、緑に囲まれるコンパクトな市街地形成を目指したい。

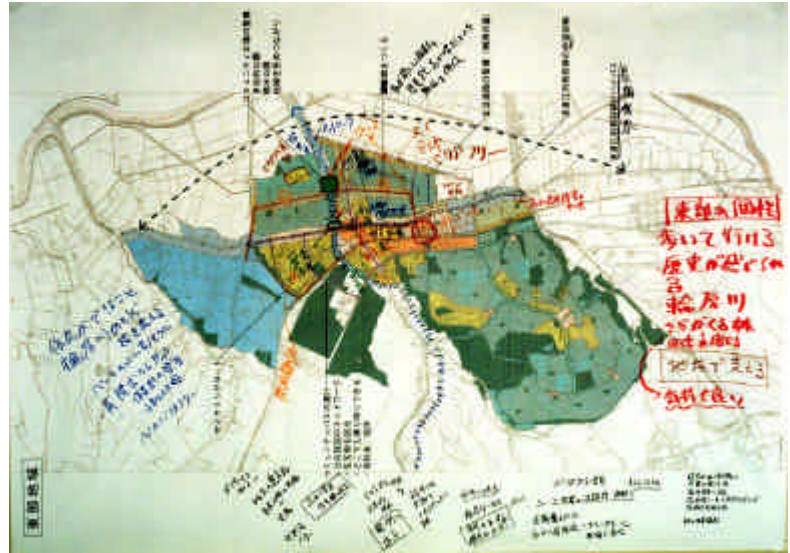
日常生活に必要なものが手に入る商業地、北広島駅とのバスのネットワーク強化、地域を結ぶ河川空間を利用したサイクリングロードの整備など、車に頼らなくても住める地域にしていきたい。また歴史のある赤毛米と共に旧島松駅も大事に残していきたい。



東部地域発表内容

古くから住んでいる人と新しく入ってくる人が、つながりを持てる地域にしたい。そのためには、学校の空き教室の活用、地域間を回る地域内バス、大きな公園によりコミュニティの和を広げ、高齢化対策も意識したまちづくりが必要。また市街地内で通過交通の多い道道江別恵庭線のあり方についての検討も必要。

農地の景観については、できるだけ残していきたい。



北広島団地地域発表内容

高齢者は安心して暮らし、若者は魅力を感じるまちにしていきたい。

緑豊かで良好な団地を求めて入居した人も多中、2世帯住宅を望み、容積率の緩和も求められている。そのためのまちづくりのルールを地区ごとに検討していきたい。

駅周辺では、利便性を考えた集合住宅の整備、駅前の公園や商業地の充実を期待している。また団地内の近隣商業地は、地域コミュニティの中心として活気付けていきたい。

再整備も考えた公園施設の充実も望まれている。

西の里地域発表内容

住んでいる人が住み続けたいまち、誰が見ても住みたいまちにしていきたい。自然の豊かさを基調とした新市街地化、安心して買物ができる商業地の形成、上野幌駅周辺の交通の拠点化を望んでいる。

通学時などの住民の交通安全も強く望まれる。また国道274号沿道の景観を守り、眺望の良い場所は地域のコミュニティの場となるようにしていきたい。

